

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572808749		
法人名	株式会社アキタニット		
事業所名	グループホームしゃくやく		
所在地	秋田県湯沢市小野字諏訪23-6		
自己評価作成日	令和3年10月31日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和4年3月1日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コロナ禍で、外出や家族との交流が激減してしまっている状況の中ではありますが、ルールを設けての玄関先内での面会や協力医との連携もあり、ホーム内での看取りが出来たご家族もいらっしゃいました。夏は湯沢の絵どうろを借り入れて飾ったり、冬は敷地内にミニかまくらを作ったりと季節を感じられる展示などで利用者様の楽しみを得られるように取り組んでいます。外食が出来ない分、誕生日は希望メニューにしたり、行事食は外注のお弁当で普段とは少し違う食事を楽しんでいただきました。

居室、共用スペースに畳がふんだんに使われ、和の趣きと家庭的な温かさが感じられます。勤続年数の長い職員が多く在籍し、チームワークの良さが日々のサービスに取り入れられ、和やかな雰囲気づくりがなされていることから理念が職員に浸透しているものと思われ、利用者の生活歴を把握して潜在的な能力に働きかけ、個々の役割を担っていただけるよう寄り添いながら支援が行われています。利用者の外部との接触には制限を設けていますが、地域の方の協力はいつもと変わることはなく、コロナ終息後には一層の交流活動が期待されます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「一緒のケア、そして理想を現実に」という理念のもと、職員間で話し、理解しながら、個々の目標を掲げ実践に努めている。	目標は各ユニットでも設定しており、理念を具体的に実践に繋げていくためにその達成度を話し合っって利用者が安心して暮らし続けられるよう取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍ということもあり、日常的に交流するのが難しいのが現状である。	職場体験を通して利用者と中学生との交流は続いています。訪問理容をお願いしている他、町内会とは運営推進会議を通じてさまざまな場面でホームへの協力が得られています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	運営推進などを通して、社内研修で行った認知症の方への対応の資料などを添付し、地域の方に伝えるように努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍により、会議はほぼ書面開催としているが、意見集約書でご意見やご要望、情報などを収集し、議事録としてまとめ、サービス向上のために活用している。	ほとんどが書面開催となっておりますが、対面会議の時と同様に意見が出されており、会議が充実したものになるよう努めています。相談事項には前向きに対応していただき、サービスの向上に活かされています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	入所申し込みの相談や、地域ケア会議へ参加することにより、市の担当のほか、他事業所の方々からも情報交換が出来ており、協力関係を築けるよう努めている。	必要に応じていつでも連絡、相談できる関係にあります。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修計画に基づいて社内研修を行い、身体拘束に関する理解と、身体拘束をしないケアの実践に努めている。	会議、研修で職員の理解に繋がっています。不適切な言葉遣い等、気になることがあった場合はその都度注意しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修で取り上げ、虐待に結びつくような事例について検討し、職員間で声を掛け合える環境づくりに努め、虐待のないケアに取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている利用者様があり、職員にも少しずつ浸透してきている。今後も必要に応じて活用、支援できるよう外部研修への参加や、社内研修でも取り上げ、理解を深めていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に説明を行っている。改正等あった場合は速やかに文書等を作成し、ご家族への説明と同意を得ている。また、疑問点や不安に思っていることに対してはその都度返答させていただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来所時や電話で意見を聞くように努めている。運営推進会議の意見集約書の中にも自由記載欄を設け、ご意見を募っている。	面会に制限を設けていることから電話やホーム便りを介して意見を聞く機会をつくっていません。要望等があった場合は、速やかに対応しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃のコミュニケーションの中で、意見や提案を出しやすい雰囲気を作るようにしている。また、毎月のミーティングの中で出た意見等も合わせ、調整会議で内容を検討している。	職員の意見は管理者を通して調整会議で代表に伝えられています。日々の業務を通して職員のさまざまな意見が運営に具体的に反映されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格の取得や、勤務状況、勤続年数などに応じて手当をつけており、職員のやりがいへと結びつくように努めている。資格に向けての研修の受講料の貸し付けなども行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加できるようにシフト等を配慮し、職員一人一人の力量に合った研修を受けることが出来るようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍により、対面での交流の機会はないが、管理者のグループラインを活用して、情報交換が出来るような取り組みがある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴することで、不安が安心に変わっていく様に穏やかな態度と笑顔を心がけて接している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前の担当ケアマネからの情報も参考にしながら、ご家族が困っていることや不安に思っている事などゆっくりと聞いてあげること、安心してサービスが受けられるような関係づくりに努めている。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に家事仕事をしたり、おやつ時間はおしゃべりを楽しんだり、コミュニケーションを図り、人生の先輩として敬う気持ちも忘れずに、お互い支え合いながら暮らしていく関係を築いている。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所の段階から、家族の関り、協力が必要であることを説明し、一緒に利用者様を支えていく関係づくりに努めている。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で、馴染みの方との交流や外出などが自由にできない状況である。	コロナの終息を待って馴染みの関係を保つことができるよう検討しています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに関わり合い、支え合えるような支援に努めている	関係性を把握しながら、食事席の配置やソファでくつろぐ時の同席の相手など配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居の際は何かあれば連絡いただければ相談に応じること、お手伝いできることがあれば協力させていただくので気軽に声を掛けてほしい旨をお伝えしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いを話す事が出来ない方には、職員本位とならないよう、利用者様の表情や態度で思いをくみ取るよう努力している。意思決定できる方に関しては、いろんな場面で選択、決定できるように努めている。	職員は利用者の生活歴を共有しており、話をよく聞くことで一人ひとりの思いや意向に沿った暮らしができるよう努め、センター方式の用紙を活用してアセスメントしています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	1人1人のこれまでの生活歴等の情報収集に努め対応している。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	居室で一人の時間を楽しみたい方、他の利用者様と一緒に過ごしていきたい方、気持ちに波のある方など、一人一人の出来ることや、やりたいことの把握に努め対応している。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、職員の意見を聞き、その方の望みや現状に添ったケアプランを立てている。	担当職員がモニタリングを行い、職員で意見を出し合って状態に応じた見直しを行い、介護計画を作成しています。	
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や、業務日誌に、気付きや必要な情報を記入し、共有することで、日々の実践や見直しに活かすようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍で、近くのスーパーと一緒に買い物に行ったりといった、ちょっとした楽しみが出来なくなった。訪問カットも一時中止させていただいた時があったが、その時は理容師の免許のある職員が散髪してあげた。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	1人1人が希望するかかりつけ医にかかっている。協力医の訪問診療を受けている方がほとんどだが、歯科医など協力医療機関と連携を取り、適切な医療を受けられるようにしている。事業所としてのかかりつけ薬局があり、連携が取れている。	入居前からの医療機関で受診を継続している方、入居後に協力医に変更した方とそれぞれですが、本人、家族の希望に応じて対応しています。医科、歯科、薬局共に十分に連携が確保されています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎月の訪問看護で状況を伝え、気軽に相談が出来、指示をいただける体制作りが出来ている。月の訪問回数も2回から3回に増え、適切な受診につなげている。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は、主治医からご家族を含めた話し合いの場をいただき病状の把握に努めている。病棟看護師とも連絡を密にし、入院中の様子などの情報交換や、退院に向けての相談に努めている。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化や終末期方針の説明を行い、同意を得ている。重度化した場合は、早い段階でご家族との話し合いを設け、意向に添えるように努めている。令和3年度より、看取り介護を行うことになったため、協力医とも連携し、ご家族に十分説明し、支援に取り組んでいる。	協力医との連携が図られ、家族の意向に添って終末期の支援が行われています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当や急変時の対応について研修を行い、対応できるように努めている。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策は水害、地震、火災を想定して、年3回の避難訓練を行っている。場面想定を少しずつ変えて行うことで、全職員が対応できるように努めている。近隣の方にも駆けつけや消火訓練など、参加いただいている。	訓練には地域の協力が得られており、避難場所も確保しています。有事における態勢等、具体的な課題をみつけて改善に繋げることを期待します。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自尊心を傷つけないような声かけ、対応に努めている。	日々のコミュニケーションから利用者の性格を理解し、一人ひとりに合わせた対応しており、排泄時の声かけの仕方も工夫しています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食べたいもの、飲みたいもの、その日着たい服など、出来るだけ本人の選択肢を広げ、決めて頂けるように働きかけている。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	共有スペースで休んだり、居室で休んだり、1人1人に合った過ごし方が出来るよう支援している。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣時、好みの洋服を選んでいただいたり、訪問カットで散髪して頂いたりしている。毛染めなど希望があれば職員が行ってあげるなど支援している。手足の爪切りも介助し綺麗にしている。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いを把握し、代食提供している。一人一人の力量に合わせ、野菜の下ごしらえ、盛り付け、食器拭きなど一緒に作業を行っている。	進んで手伝ってくれる方もいますし、できる時に手伝っていただくようにしています。誕生日にはその人の好みのもを提供し、外食に代わってお弁当を手配する等、楽しく食事ができる場面づくりが行われています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べられる量を把握しながら、1人1人に合った食事量や、おかゆや刻みなどの食事形態にも配慮している。食事量や水分量なども記録し、状態の把握に努めている。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後にうがいをしたり、義歯を外して汚れを落としたり、本人の力に応じた口腔ケアを行っている。週2回は就寝前に義歯洗浄剤を使用し、清潔保持に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の記録を活かし、パターンを把握してトイレ誘導を行うことで、少しでも失禁を減らすように支援している。	チェック表を活用して適時声かけ、誘導し、トイレでの排泄を支援しています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤を使用している方が多いが、それだけに頼らず、水分補給や、牛乳やヤクルトなどを飲んだり、ラジオ体操や廊下のウォーキングなどを取り入れたりしている。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	午後からの入浴体制となっているが、眠気が強かったり不穏になる時間帯と重なる方の場合は午前中の入浴を促すなど、一人一人のタイミングや状態に合わせて支援している。	入浴を促すタイミングを職員は心得ており、週2～3回を目途に一人ひとりに合わせた支援が行われています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	歌番組の好きな方はそれが終わってから就寝準備に入ったり、寝付けられない方には宿直室に来ていただき一緒にお茶を飲みながら過ごして頂くなど、一人一人の習慣に合わせて支援している。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳やお薬写真などで、どんな薬を使用しているかを把握するよう努めている。特に処方に変更があった場合は、申し送りの徹底と確認をするように努めている。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テレビやラジオを楽しまれたり、利用者様同士や職員を交えてのおしゃべりを楽しまれたりしている。コーヒーが好きな方が多くおやつ時に提供すると喜ばれている。誕生日には希望のメニューを提供し、行事の計画にも参加してもらっている。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍であり、外出できない状況である。限られた方ではあるが、桜や紅葉の時期は車内から景観を楽しむのみとさせていただいた。ホームの敷地内の散歩には付き添いを行った。	感染防止の意味もあり、外出支援が難しい状況が続いています。敷地内の空間を利用することでできる外気浴の仕方等を話し合い、ホームに閉じこもらずに生活できる工夫を期待します。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブル防止のため、お金は所持していない。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様からの申し出があれば自由に電話で会話できる。難聴の方は職員の代弁で満足されているようだ。塗り絵のハガキを送り、ご家族に喜ばれたこともある。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	陽が眩しい時はカーテンを閉めたり、ガラスの下側に目隠しシートを貼ったりと工夫している。作業中の物音に利用者様が驚かないように配慮している。衣類の臭い対策として消臭ビーズや柔軟剤なども活用している。	利用者が居心地良く過ごせるよう温度、湿度を管理し、利用者が混乱せずに使用できる工夫もみられます。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席で大きく新聞を広げて読まれたり、ソファや居室で思い思いに過ごす事が出来るよう、状況をみながら配慮している。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用してきた、自分のものとわかる馴染み深い物を持ってきていただいている。家族写真を飾ったり、シルバーカーの中に入れて、時々取り出して見ている方もいらっしゃる。	自分の部屋を覚えることが難しい利用者には、本人にわかる目印や名前を出入り口に付けています。また、室内のものをむやみに移動しないよう気をつけ、本人にとって安心して生活できる環境となるよう配慮しています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーで、安全で出来るだけ自立した生活が出来るようにしている。入所時はわかりやすいようにと居室前に名札を目印につけたりしているが、認識できるようになった方は外すようにしている。		